

滝田 ゆる展

昭和×東京下町セレナーデ

2018 1・3・3 水
25 日 ◀



「ぼくが少年キヨシだったころ」

漫画家
安倍夜郎先生による
ミニ・トーク
1月20日(土)

滝田ゆう担当編集者によるミニ・トーク
小島 香(元・講談社文芸出版部長)
校條 剛(元「小説新潮」編集長、現・京都造形芸術大学教授)
※それぞれ日時・詳細は美術館HPにて

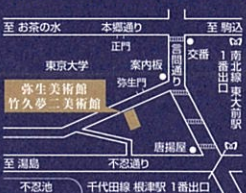
学芸員によるギャラリー・トーク
1月14日(日)・2月11日(日)・3月11日(日)
すべて14時から

「げんまいパ〜ンのホヤホヤ〜ン」。できたての温かい玄米パンを売るおじさんの声が響くのは、戦前・戦中の東京下町・向島区の寺島町。色街として知られた「玉の井」は、漫画家・滝田ゆう(1931~1990)が生まれ育った故郷です。

貸本漫画家を経て、1968年より『月刊漫画ガロ』に連載した「寺島町奇譚」シリーズが絶賛された滝田は、その後も温かく柔らかなタッチによる作品を発表し、人気を博しました。

本展では、連載開始から50年となる「寺島町奇譚」の原画の他、戦前・戦中の東京下町の風俗が綿密に描きこまれたカラーイラストや「泥鰌庵閑話」の原画、関連資料などを多数紹介。そこにあるのは戦火で失われた裏通りの庶民の日常と、情感豊かに描かれた切なく懐かしい町の面影……。人々の心に優しく染みわたる、滝田の記憶の風景が鮮やかに浮かび上がります。

展覧会に併せてコロナ・ブックス『滝田ゆう』(平凡社)を2017年12月中旬刊行!



東京メトロ千代田線(根津駅)or
南北線(東大前駅)共に徒歩7分

JR上野駅公園口・しのばず口より
徒歩20分(東京大学弥生門斜め前)

※駐車場はございませんので、
お車でお越しはご遠慮ください。

弥生美術館

Yayoi Museum

〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-3

Tel. 03(3812)0012

<http://www.yayoi-yumeji-museum.jp>

休館日 月曜日

*ただし1月8日・2月12日(月祝)開館、翌1月9日・2月13日(火)休館

開館時間 午前10時~午後5時(最終入館4時半まで)

入館料 一般 900円/大・高生 800円/中・小生 400円

* 竹久夢二美術館と二館併せてご覧いただけます。

* 高品質の常設ルームもご覧いただけます。